

届出対象病原体等運搬届出書の記載事例

別記様式第1 (その2)

運搬する届出対象病原体等の名称、数量並びに一種病原体等、二種病原体等及び三種病原体等の別		コロナウイルス属SARSコロナウイルス 内容物 1個 35ml (外装梱包2kg) 二種病原体等		
運 送 人	氏名 (法人にあっては、その名称)	〇〇運送株式会社		
	住 所	東京都〇区〇丁目〇番〇号		
運 行 責 任 者 氏 名 (注5)		〇〇 〇夫 (同行者兼務)		
同 行 者 氏 名 (注6)		〇〇 〇夫		
届出対象病原体等積載車両及び運転者	自 動 車	最大積載	積載する届出対象病原体等及びその積 載 数 量	運 転 者 氏 名
	登 録 番 号	重 量		
	品川 100 あ〇〇〇 〇	2000 kg	二種病原体等 1個 35 ml (外装梱包2kg)	〇〇〇郎
積 載 方 法 (注7)		別紙2記載		
運 搬 要 領 (注8)		別紙3記載		
警 察 機 関 へ の 連 絡 要 領		別紙4記載		

注1 特定一種病原体等所持者、一種滅菌譲渡義務者、二種病原体等許可所持者若しくは二種滅菌譲渡義務者若しくはこれらの者から運搬を委託された者又は三種病原体等所持者の別を記載すること。

2 全運搬経路の運搬日時を記載すること。

3 全運搬経路の出発地及び到着地を記載し、事務所である場合は、その名称を併記すること。

4 駐車、積卸し及び一時保管の予定場所及び予定時刻を記載すること。

5 運行に同行し、運搬の実施について責任を有する者の記載をすること。

6 運行に同行し、届出対象病原体等の取扱いに関し知識及び経験を有する者の記載をすること。

7 輸送する届出対象病原体等の積載方法の概要を記載し、積載時の車両の外観図を添付すること。

8 駐車、積載し又は一時保管する際に講ずる見張人の配置等盗取、所在不明その他の事故の防止の措置について記載し、車列の編成及び車間距離を記載した図面を添付すること。

備考1 ※印欄は、記入しないこと。

2 届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる

3 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

運 搬 経 路

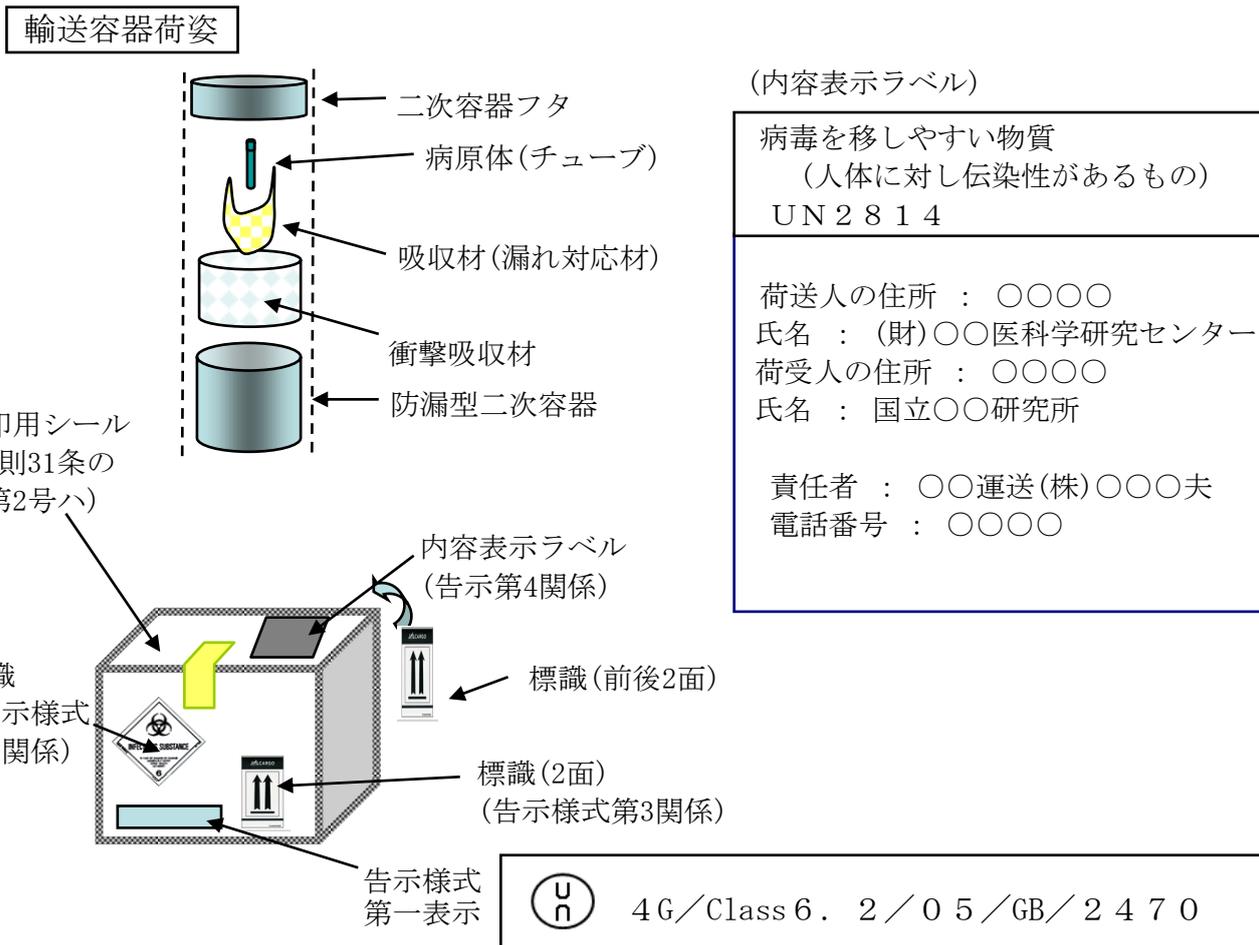
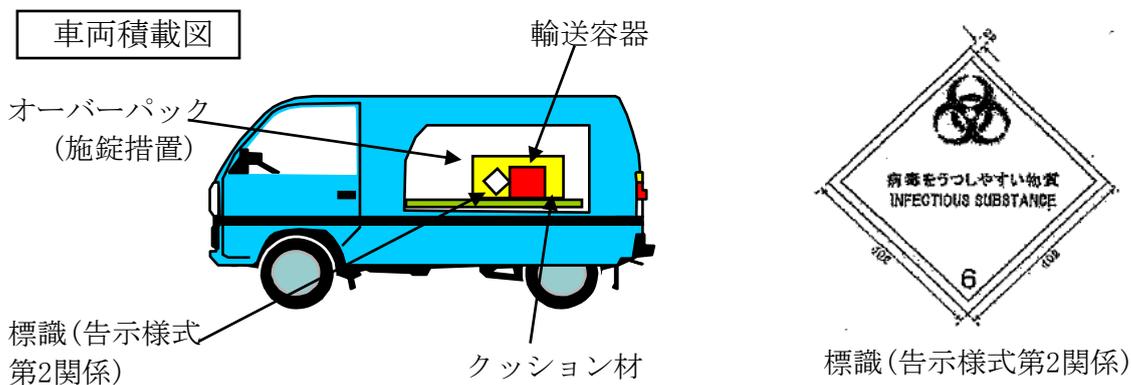
県名	経 由 地 点	距離 (km)		路線名	所要時間 (分)	運行 時間	運搬 手段	備 考
	[駐車予定場所]	区間	キロ程					
東 京	(財)〇〇医科学研修 センター			都 道		8:30	自動車	出発
	〇〇交差点	0.5	0.5		5	8:35		
	〇〇交差点	0.3	0.8		3	8:38		
	〇〇交差点	0.9	1.7		5	8:43		
	首都高速〇〇 I C	0.3	2		2	8:45		
	首都高速〇〇 J C T	5.4	7.4	首都高速道路	10	8:55		
	首都高速〇〇 J C T	4	11.4		5	9:00		
	首都高速〇〇 J C T	3.8	15.2		5	9:05		
	首都高速〇〇 I C	3.3	18.5		5	9:10		
	〇〇交差点	0.4	18.9	〇〇通り	3	9:13		
	〇〇交差点	0.4	19.3		3	9:16		
	〇〇駅前	1.1	20.4	都 道	5	9:21		
	〇〇交差点	0.3	20.7		2	9:23		
	国立〇〇研究所	0.3	21		2	9:25		
		計	21km			55分		

別紙 2

積 載 方 法

運搬用の梱包と積載方法は、漏えい、飛散等の未然防止のため、次の措置を行います。

- ① 輸送容器は、防漏型二次容器と吸収材を用いた多重梱包とし、輸送中の振動等による漏洩及び飛散を防止します。
- ② 輸送容器には、耐衝撃性のクッション材を充填したオーバーパックを施し、輸送容器に対する車両衝突事故等の衝撃を防護します。
- ③ 輸送容器及びオーバーパックには法定の標識を付します。



別紙 3

運 搬 要 領

運搬にあたっては、安全確保のため以下の措置をとります。

1. 運行前に運搬従事者に対して事故時の対応方法、連絡要領を教育します。
2. 運行前点検を厳重に実施します。
3. 交通法規を遵守し、一般道路及び高速道路において指定速度以下で運行します。
注) 雨天等気象状況の悪い時、又は坂道、悪路、工事中の道路等注意を要する場合は、徐行する等、より安全な速度で走行します。
4. 積載車には以下に示す運搬従事者が乗車し、交通事故防止に努めるとともに病原体等を監視します。
5. 携帯無線機又は携帯電話等を使用し、必要に応じて荷送人等と連絡をとります。
6. 駐車、積卸し又は一時保管する際は、積載車両に接近する者を監視出来る位置で見張人を配置します。尚、やむを得ず路上に駐停車する場合には停止表示板を置き、見張人が交通安全の確保を行います。

伴 走 車 及 び 運 搬 従 事 者

積載車 [品川100あ1234]	予備車 [品川100あ2222]
運転手 ○○ ○郎 (○○運送)	(運転者予備員 ○○ ○雄 (○○運送))
同行者 ○○ ○夫 (○○運送)	(同行者予備員 ○○ ○子 (○○運送))
見張人 運転者及び同行者が兼務する。	
運行責任者 同行者が兼務する	

携 行 資 器 材 の 名 称 及 び 個 数

No	品 名	個 数
1	シート (運搬容器を覆うことができるもの)	1枚/容器
2	立入制限用ロープ	約40m/車両
3	使い捨てマスク	10個
4	保護眼鏡 (ゴーグル)	10個
5	水 (手指洗浄用)	1L
6	消毒用エタノール (手指消毒用)	500ml
7	使い捨てビニール手袋	30個
8	消毒剤 (0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液)	500ml
9	紙タオル (漏えい物を覆い、吸収するため)	1パック
10	ビニール袋 (大)	10枚
11	消火器	1式/車両
12	標識 (立入禁止等)	1式/車両
13	赤色合図灯	1本/車両
14	発煙筒	1本/車両
15	赤旗	1本/車両
16	特定病原体等イエローカード	1枚/車両

別紙 3 - 2

応 急 措 置 要 領

事故が発生した場合には、状況によって処置方法は異なりますが、運行責任者又は運行責任者の指示を受けた運搬従事者は、原則として特定病原体等イエローカードの内容に従い、次の処置をとります。

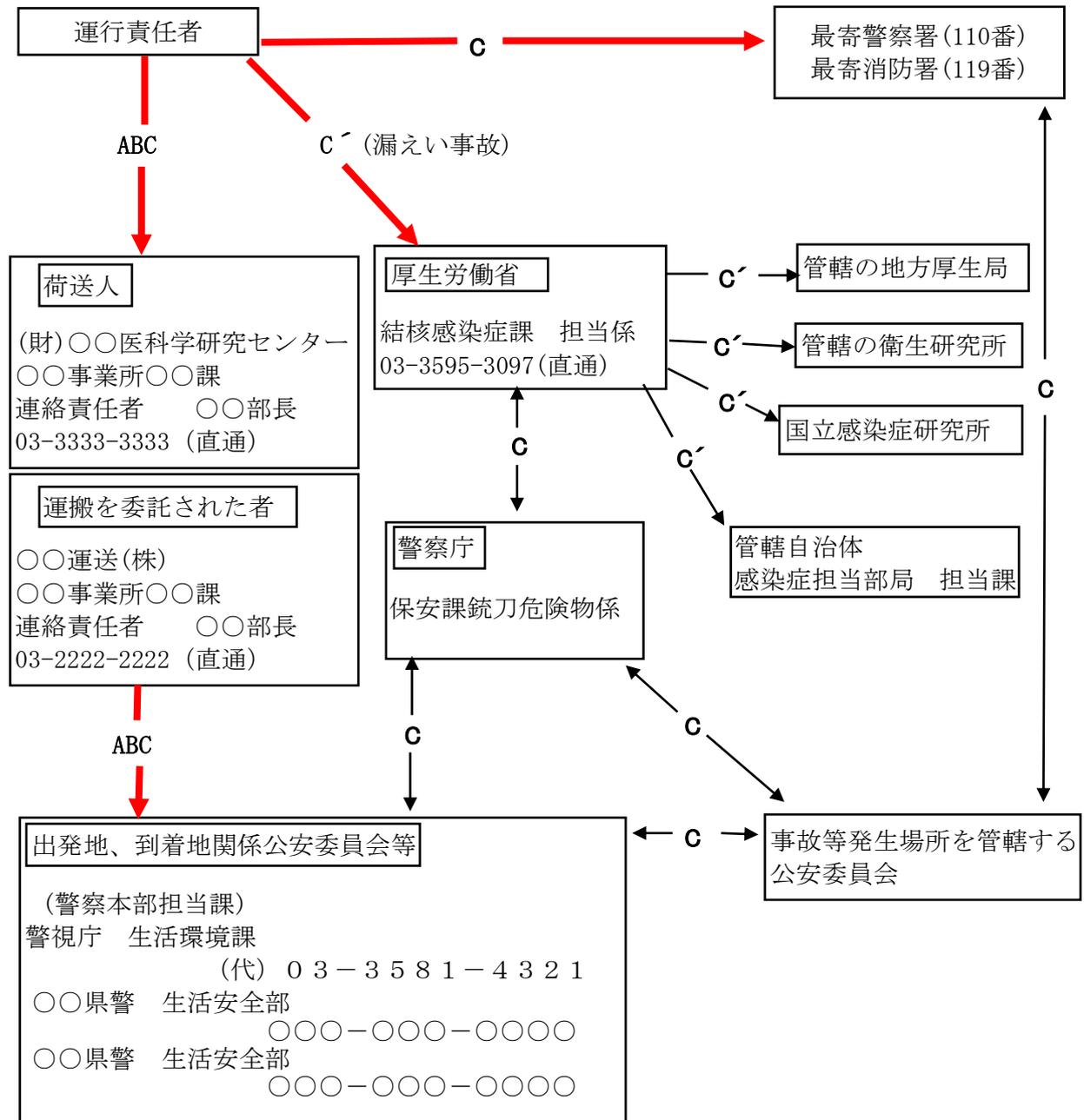
1. 車両火災を確認した場合は、速やかに消防へ119番通報します。
2. マスク、ビニール手袋、保護眼鏡等を必要な防護具を装着して、運搬容器の状態（外観）を確認します。
3. 下記の「警察機関への連絡要領」により最寄りの警察へ110番通報し、指示をあおぎます。
4. 別紙4中の「異常時の連絡体制」に従い、荷送人に連絡します。
5. 容器の外観に漏えい等の異常が見られた場合は、別紙4中の「異常時の連絡体制」に従い、厚生労働省結核感染症課に連絡します。
6. 見張人を配置し、周囲に人がいる場合は、運搬容器から離れるように指示をします。
7. 漏えい物がある場合には、紙タオルで覆い、吸収させます。消毒剤を容器及びその周囲に散布し、シートで運搬容器を覆い、拡散防止措置をとります。
8. 事故現場の状況に従って、ロープで縄張り、立入禁止標識、赤旗又は合図灯により立入禁止措置をとります。
9. 火災が発生した場合は、直ちに延焼防止措置をとり、初期消火に努め、万が一容器に延焼した場合は、国の専門家又は同行者若しくは荷送人の指示に従い、消火すべきかを判断します。

警 察 機 関 へ の 連 絡 要 領

1. 交通事故、病原体等の盗取等が発生した場合には、運行責任者が110番(高速道路上では緊急電話又は携帯電話等)で最寄りの警察に連絡します。
連絡にあたっては、下記内容を速やかに伝えます。
 - (1) 事故発生時刻および場所
 - (2) 事故の原因及び状況
 - (3) 負傷者、汚染の有無
 - (4) 事故の拡大性の有無
 - (5) 講じた措置
 - (6) 連絡者の氏名及び今後の連絡先
2. 運行責任者は車両事故、道路の不通等により、30分以上予定時刻より遅延する等、予定通りの運搬ができなくなった場合には、現在地を管轄する公安委員会及び関係公安委員会に別紙4「異常時の連絡体制」の連絡系統により連絡します。
3. 運搬終了時には、出発地及び到着地の公安委員会に連絡します。

異常時の連絡体制

- A. 通常時の動静連絡の場合(出発時、到着時の連絡)
- B. 予定経路上での交通渋滞等により運行時刻が予定より遅れる場合
- C. 積載車両等に交通事故等の非常事態が発生した場合 C' :漏洩事故時



見本

別記様式第2（第2条関係）

第	号	平成	〇〇年	〇〇月	〇〇日			
届出対象病原体等運搬証明書								
東京都公安委員会								
届出者	住所	東京都〇区〇町〇丁目〇番〇号						
	氏名	〇〇運送株式会社 代表取締役社長 〇〇 〇男						
	届出者の区分	運搬を委託された者						
搬	日	平成〇〇年	〇〇月	〇〇日	〇〇時 〇〇分			
		平成〇〇年	〇〇月	〇〇日	〇〇時 〇〇分			
出	発	地	東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇〇号 財団法人〇〇医科学研究センター					
到	着	地	東京都〇〇区〇〇町〇〇丁目〇番地〇号 国立〇〇研究所					
運 搬 経 路	経由地点	距離 (km)		路線名	所要時間 (分)	運行時間	運行手段	備考
		区間	キロ程					
	別紙1記載のとおり							
運搬の内容					別記様式第1（その2）のとおり			
指示事項								
備考1 この運搬証明書は、運搬中常に携帯すること。 2 運搬中この運搬証明書の記載事項に変更を生じたときは、直ちに届出対象病原体等が現に在る場所を管轄する都道府県公安委員会に連絡し、指示に従って運搬すること。								

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

別記様式第1（その2）

運搬する届出対象病原体等の名称、数量並びに一種病原体等、二種病原体等及び三種病原体等の別		コロナウイルス属SARSコロナウイルス 内容物 1個 35ml（外装梱包2kg） 二種病原体等		
運 送 人	氏名（法人にあっては、その名称）	〇〇運送株式会社		
	住 所	東京都〇区〇丁目〇番〇号		
運 行 責 任 者 氏 名（注5）		〇〇 〇夫（同行者兼務）		
同 行 者 氏 名（注6）		〇〇 〇夫		
届出対象病原体等積載車両及び運転者	自 動 車	最大積載	積載する届出対象	運 転 者 氏 名
	登 録 番 号	重 量	病 原 体 等 及 び そ の 積 載 数 量	
	品川 100 あ〇〇〇 〇	2000 kg	二種病原体等 1個 35ml (外装梱包2kg)	〇〇〇郎
積 載 方 法（注7）		別紙2記載		
運 搬 要 領（注8）		別紙3記載		
警 察 機 関 へ の 連 絡 要 領		別紙4記載		

注1 特定一種病原体等所持者、一種滅菌譲渡義務者、二種病原体等許可所持者若しくは二種滅菌譲渡義務者若しくはこれらの者から運搬を委託された者又は三種病原体等所持者の別を記載すること。

2 全運搬経路の運搬日時を記載すること。

3 全運搬経路の出発地及び到着地を記載し、事務所である場合は、その名称を併記すること。

4 駐車、積卸し及び一時保管の予定場所及び予定時刻を記載すること。

5 運行に同行し、運搬の実施について責任を有する者の記載をすること。

6 運行に同行し、届出対象病原体等の取扱いに関し知識及び経験を有する者の記載をすること。

7 輸送する届出対象病原体等の積載方法の概要を記載し、積載時の車両の外観図を添付すること。

8 駐車、積載し又は一時保管をする際に講ずる見張人の配置等盗取、所在不明その他の事故の防止の措置について記載し、車列の編成及び車間距離を記載した図面を添付すること。

備考1 ※印欄は、記入しないこと。

2 届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。

3 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

運 搬 経 路

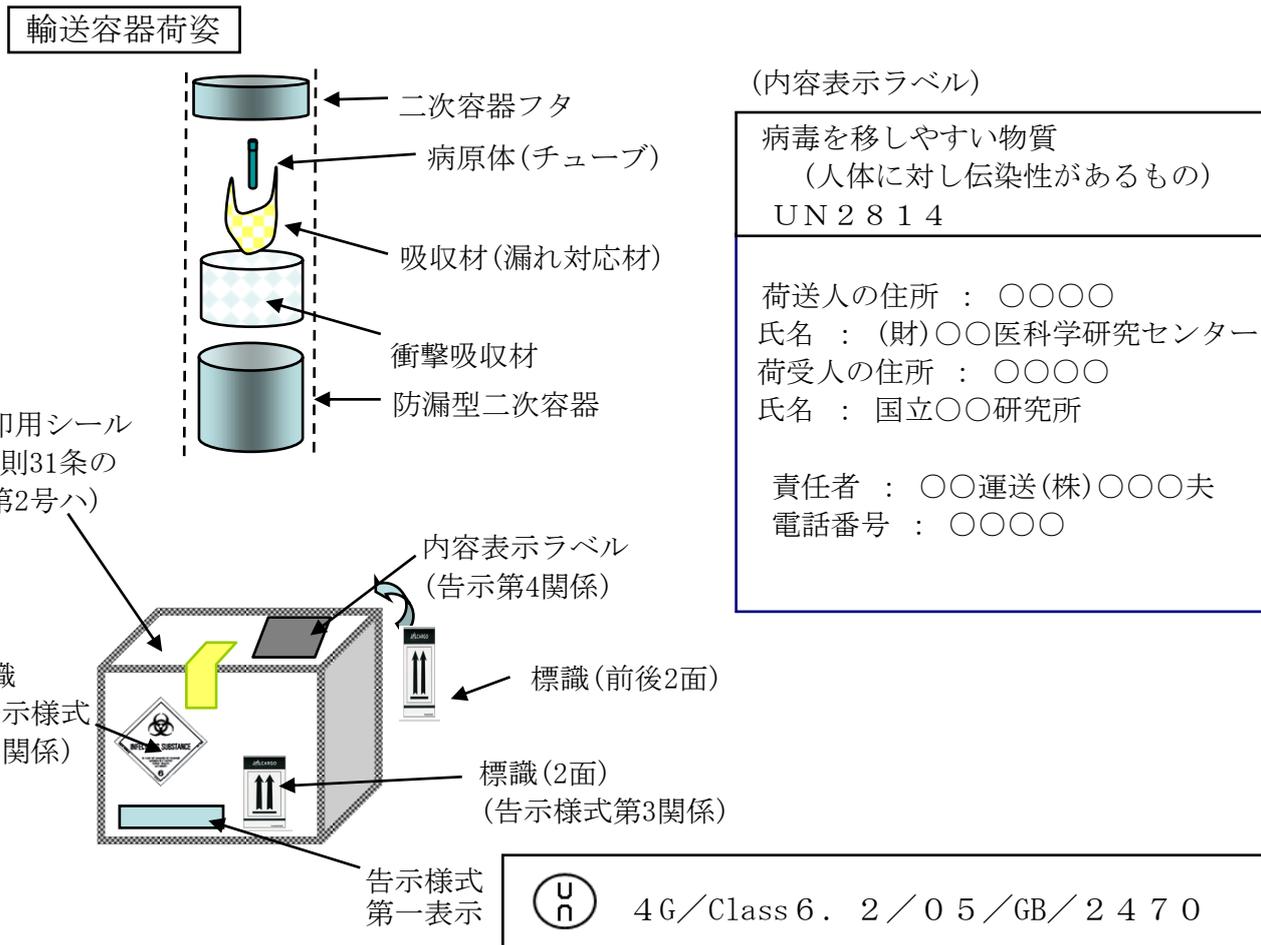
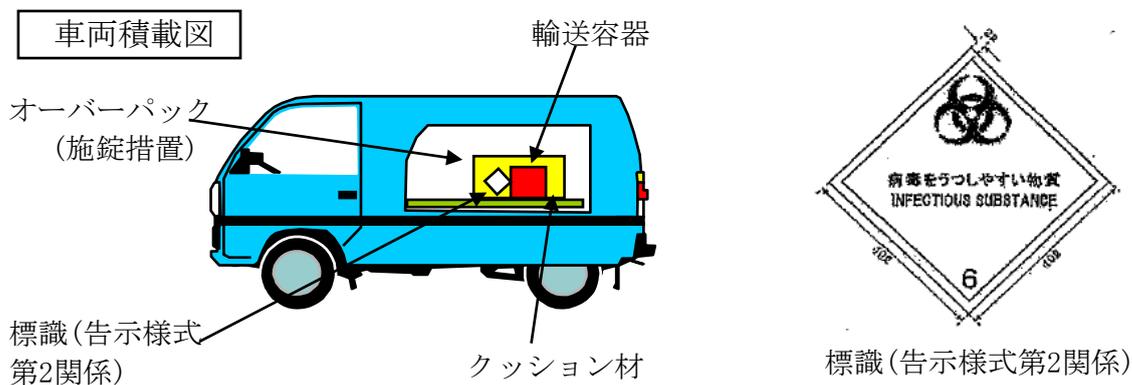
県名	経 由 地 点	距 離 (km)		路線名	所要時間 (分)	運行 時間	運搬 手段	備 考
	[駐車予定場所]	区間	キロ程					
東 京	(財)〇〇医科学研修 センター			都 道		8:30	自動車	出発
	〇〇交差点	0.5	0.5		5	8:35		
	〇〇交差点	0.3	0.8		3	8:38		
	〇〇交差点	0.9	1.7		5	8:43		
	首都高速〇〇 I C	0.3	2		2	8:45		
	首都高速〇〇 J C T	5.4	7.4	首都高速道路	10	8:55		
	首都高速〇〇 J C T	4	11.4		5	9:00		
	首都高速〇〇 J C T	3.8	15.2		5	9:05		
	首都高速〇〇 I C	3.3	18.5		5	9:10		
	〇〇交差点	0.4	18.9	〇〇通り	3	9:13		
	〇〇交差点	0.4	19.3		3	9:16		
	〇〇駅前	1.1	20.4	都 道	5	9:21		
	〇〇交差点	0.3	20.7		2	9:23		
	国立〇〇研究所	0.3	21		2	9:25		
		計	21km			55分		

別紙 2

積 載 方 法

運搬用の梱包と積載方法は、漏えい、飛散等の未然防止のため、次の措置を行います。

- ① 輸送容器は、防漏型二次容器と吸収材を用いた多重梱包とし、輸送中の振動等による漏洩及び飛散を防止します。
- ② 輸送容器には、耐衝撃性のクッション材を充填したオーバーパックを施し、輸送容器に対する車両衝突事故等の衝撃を防護します。
- ③ 輸送容器及びオーバーパックには法定の標識を付します。



別紙 3

運 搬 要 領

運搬にあたっては、安全確保のため以下の措置をとります。

1. 運行前に運搬従事者に対して事故時の対応方法、連絡要領を教育します。
2. 運行前点検を厳重に実施します。
3. 交通法規を遵守し、一般道路及び高速道路において指定速度以下で運行します。
注) 雨天等気象状況の悪い時、又は坂道、悪路、工事中の道路等注意を要する場合は、徐行する等、より安全な速度で走行します。
4. 積載車には以下に示す運搬従事者が乗車し、交通事故防止に努めるとともに病原体等を監視します。
5. 携帯無線機又は携帯電話等を使用し、必要に応じて荷送人等と連絡をとります。
6. 駐車、積卸し又は一時保管する際は、積載車両に接近する者を監視出来る位置で見張人を配置します。尚、やむを得ず路上に駐停車する場合には停止表示板を置き、見張人が交通安全の確保を行います。

伴 走 車 及 び 運 搬 従 事 者

積載車 [品川100あ1234]	予備車 [品川100あ2222]
運転手 ○○ ○郎 (○○運送)	(運転者予備員 ○○ ○雄 (○○運送))
同行者 ○○ ○夫 (○○運送)	(同行者予備員 ○○ ○子 (○○運送))
見張人 運転者及び同行者が兼務する。	
運行責任者 同行者が兼務する	

携 行 資 器 材 の 名 称 及 び 個 数

No	品 名	個 数
1	シート (運搬容器を覆うことができるもの)	1枚/容器
2	立入制限用ロープ	約40m/車両
3	使い捨てマスク	10個
4	保護眼鏡 (ゴーグル)	10個
5	水 (手指洗浄用)	1L
6	消毒用エタノール (手指消毒用)	500ml
7	使い捨てビニール手袋	30個
8	消毒剤 (0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液)	500ml
9	紙タオル (漏えい物を覆い、吸収するため)	1パック
10	ビニール袋 (大)	10枚
11	消火器	1式/車両
12	標識 (立入禁止等)	1式/車両
13	赤色合図灯	1本/車両
14	発煙筒	1本/車両
15	赤旗	1本/車両
16	特定病原体等イエローカード	1枚/車両

別紙 3 - 2

応 急 措 置 要 領

事故が発生した場合には、状況によって処置方法は異なりますが、運行責任者又は運行責任者の指示を受けた運搬従事者は、原則として特定病原体等イエローカードの内容に従い、次の処置をとります。

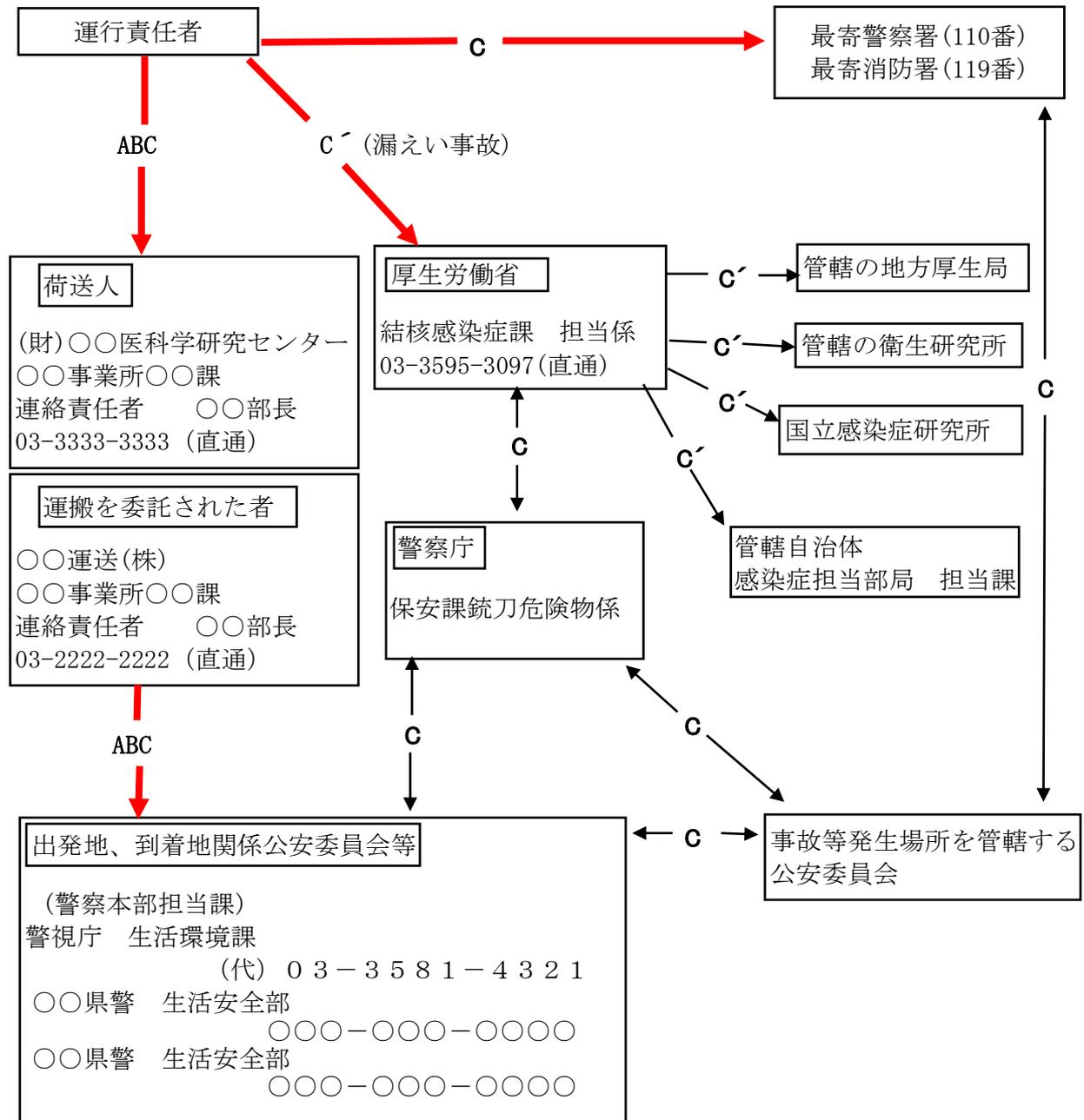
1. 車両火災を確認した場合は、速やかに消防へ119番通報します。
2. マスク、ビニール手袋、保護眼鏡等を必要な防護具を装着して、運搬容器の状態（外観）を確認します。
3. 下記の「警察機関への連絡要領」により最寄りの警察へ110番通報し、指示をあおぎます。
4. 別紙4中の「異常時の連絡体制」に従い、荷送人に連絡します。
5. 容器の外観に漏えい等の異常が見られた場合は、別紙4中の「異常時の連絡体制」に従い、厚生労働省結核感染症課に連絡します。
6. 見張人を配置し、周囲に人がいる場合は、運搬容器から離れるように指示をします。
7. 漏えい物がある場合には、紙タオルで覆い、吸収させます。消毒剤を容器及びその周囲に散布し、シートで運搬容器を覆い、拡散防止措置をとります。
8. 事故現場の状況に従って、ロープで縄張り、立入禁止標識、赤旗又は合図灯により立入禁止措置をとります。
9. 火災が発生した場合は、直ちに延焼防止措置をとり、初期消火に努め、万が一容器に延焼した場合は、国の専門家又は同行者若しくは荷送人の指示に従い、消火すべきかを判断します。

警 察 機 関 へ の 連 絡 要 領

1. 交通事故、病原体等の盗取等が発生した場合には、運行責任者が110番(高速道路上では緊急電話又は携帯電話等)で最寄りの警察に連絡します。
連絡にあたっては、下記内容を速やかに伝えます。
 - (1) 事故発生時刻および場所
 - (2) 事故の原因及び状況
 - (3) 負傷者、汚染の有無
 - (4) 事故の拡大性の有無
 - (5) 講じた措置
 - (6) 連絡者の氏名及び今後の連絡先
2. 運行責任者は車両事故、道路の不通等により、30分以上予定時刻より遅延する等、予定通りの運搬ができなくなった場合には、現在地を管轄する公安委員会及び関係公安委員会に別紙4「異常時の連絡体制」の連絡系統により連絡します。
3. 運搬終了時には、出発地及び到着地の公安委員会に連絡します。

異常時の連絡体制

- A. 通常時の動静連絡の場合(出発時、到着時の連絡)
- B. 予定経路上での交通渋滞等により運行時刻が予定より遅れる場合
- C. 積載車両等に交通事故等の非常事態が発生した場合 C' :漏洩事故時



		※整理番号	
		※受理年月日	
		※書換え年月日	
届出対象病原体等運搬証明書書換え申請書			
平成〇〇年 〇〇月 〇〇日			
〇〇 公安委員会 殿			
住所 東京都〇区〇町〇丁目〇番〇号			
氏名 〇〇運送株式会社 代表取締役社長 〇〇 〇男 			
届出者の区分 運搬を委託された者			
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令第21条の規定により、 運搬証明書の書換えを申請します。			
運搬証明書番号		〇〇	運搬証明書交付年月日
			平成〇〇年〇〇月〇〇日
変 更 内 容	旧		新
	運搬日平成〇〇年〇〇月〇〇日		運搬日平成〇〇年〇〇月〇〇日
変 更 事 由	運搬物の輸出手続きが遅れ、輸入予定日が平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日になったことから、運搬日を変更する必要があるため。		

備考1 ※印欄は、記入しないこと。

備考2 届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。

備考3 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

		※整理番号		
		※受理年月日		
		※再交付年月日		
届出対象病原体等運搬証明書再交付申請書				
平成〇〇年 〇〇月 〇〇日				
〇〇 公安委員会 殿				
住所 東京都〇区〇町〇丁目〇番〇号				
氏名 〇〇運送株式会社 代表取締役社長 〇〇 〇男 				
届出者の区分 運搬を委託された者				
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令第21条の規定により、 運搬証明書の再交付を申請します。				
運搬証明書番号		〇〇	運搬証明書交付年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
申 請 の 事 由	平成〇〇年〇〇月〇〇日ころ、東京都〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇〇号所在の当 社〇〇支店からJR〇〇線〇〇駅まで徒歩で移動した際に、茶封筒に入れたままの 運搬証明書を遺失しましたので再交付を申請します。 なお、平成〇〇年〇〇月〇〇日警視庁〇〇警察署に遺失届をしております。			

備考1 ※印欄は、記入しないこと。

2 届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。

3 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。